

新柿線、高橋―江島間の地吹雪対策を！

新井柿崎線整備促進議員連盟視察で総合事務所が訴え

主要地方道新井柿崎線の整備促進議員連盟（宮崎政国会長）は8月22日、マイクロバスに乗って板倉区から柿崎区まで走り、要望のあがっている箇所を視察しました。

あらかじめ地元から提出されている要望箇所は22か所。今回はマイクロバスに市議だけでなく、県議や県職員も一緒に乗っての視察となりました。

厳しい財政状況の中で改善、改良の必要性、緊急性をクローズアップしないと、すぐ手をつけてもらえません。総合事務所の職員や地元市議による現地での説明には、それぞれ力が入っ

ていました。

吉川区としての要望箇所は大潟区の高橋新田から柿崎区の江島新田間の防雪柵設置です。総合事務所の所長と担当グループ長は地吹雪の時の写真を持ち出して説明し（写真）、注目されました。地吹雪に悩まされている写真は、ひどい時ほど真っ白になり、なかなか難しいのに、よく見つけたもんです。

同議員連盟は今後、上越地域振興局、県庁に要望書を提出し、10月には県土木部長に直接要請する予定です。また、冬場の視察についても検討しています。

【議会に提出された「杜氏の郷経営改善計画書」の概要①】

今号から「杜氏の郷経営改善計画」の概要を数回に分けてお知らせします。

《経営改善方針》経営の現状は、前期の第9期にはようやく単年度黒字に転じ、第10期もほぼ同様の傾向にあり、清酒も鑑評会で受賞するなど評価を得ております。売上も年々伸びていることから、市より損失補償を認めていただき、今後とも会社を存続できれば、会社経営は好転し、損失補償分の市への年次返済は可能と考えています。

つきましては、上越市に對しましては、事業継続のため担保の履行と連帯保証人に対する求償を猶予し、超長期返済による損失補償額の償還を願うものであります。また、えちご上越農業協同組合に對しましては、筆頭株主として直接経営に關与し、また、メインバンクとして短期資金などの調達に協力をお願いするとともに、系統を通じた販売の拡大に協力をお願いするものであります。上越市並びにえちご上越農業協同組合からの支



梶沖の県道をバックに要望箇所について説明する総合事務所武藤グループ長



【ボタンヅル】いまの時期、草の上を真っ白におおっている花です。そばで見れば、直径2センチほどの小さな花で、かわいい。キンポウゲ科。坪野親水公園付近にて17日撮影。

援をいただく中で、役員からの短期借入金については、7年に分割して返済いたします。

今まで経験したノウハウをより活用し、お付き合いいただきましたお客様をより大切に、そしてなにより地域に密着した営業活動を展開し、市民の皆様からあたたかいご理解とご支援をお願いするものであります。地域の財産を有効に活用する中で、日本の食文化の原点と酒造りの歴史を強く継承し、精力的な活動を役員ともども行う所存であります。

なお、念のため申し添えますが提出いたしました資料につきましては、杜氏の郷取締役会で作成検討したものであります。よって不十分な点が多々あると思いますが、今後、市、JA、当社の三者協議の議を経て経営方針を確定しその指示の基、実行すべく考えておりますのでよろしくご指導のほどお願い申し上げます。（原文のまま）



【私の活動スナップ写真】

25日、長野県信濃町で廃棄物最終処分場建設予定地を視察した時のもの。予定地は高田平野を流れる関川の上流に位置し、建設されるかどうかは上越市にとっても重大な問題です。実害、風評被害ともないようにしなければなりません。



NO 1360
2008.8.31

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

春よ来い 第九七回 姉と妹（3）

いま会っておかないと二度と会えないかも知れない。そんな思いが心のどこかから湧いて出たのでしようか、母が大島区板山の伯母のところに連れて行ってくれと急に言いだし、一緒に出かけてきました。

「板山のばちや、最近、足にしびれがくるがだと。顔、見に行つてこねと」母の強い調子の言葉に押されて出かけたのは町内会の祭りの翌日、それも夕方のことでした。いつものことながら、バタバタと土産にするものを決めました。今回は、前日の祭りの時に作った押し寿司と玉ねぎです。車にのせてすぐ出発しました。

伯母の家まで車で約四〇分。近いようですが、なかなか行けませんでした。母にとつて、姉と再会するのは一年ぶりくらいだったでしょう。

茶の間にあげてもらおうと、いつものように、飯台の上にはご馳走がいっぱい並んでいます。そのそばで母が土産の品を広げはじめたら、伯母が言いました。

「何でもいらんそつたがに。こんげつぺ。おら、こんげんことせねがに……。ま、もうしゃけねえね。ごつつお、ごつつお」

それから、堰を切ったように、二人の会話が続きます。

「あらまあ、お寿司屋さんで作つたような寿司だない」

「きんな（昨日）の祭りの時に作つたがだすけ大丈夫だと思つても、チンして食べてくれない」

「おらとこは、野菜ごつつおばつかでそ」

「それで、いいこて。上手に作つてあるねかね」

「なーし、おらちのおつかさ作つたがだ」

二人の会話は、食べものから、お互いの体調のこと、懐かしい人のこと、昔話へと、どんどん広がっていきます。

「おまさん、達者だね。年より若いねかね」

「なして、ほら、腕なんか、シワクチャじゃ」

「ふんだ、おらの方が丸っこいわ」

「あたしやのじちや、几帳面な人だでも、最近、しゃべらんくなつちやつたそうだ」

「まあ、気の毒だねや。あの人は、おら狭山（狭山市に住んでいた叔父のこと・故人）と年、同じだ」

八月も半ばすぎ。いまにも雨が降りそうな空模様の中で、板山はセミの声ひとつせず、とても静かでした。母と伯母の話し声の他に聞こえてきたのは、オートバイの中古などを買い求めて回っている業者の宣伝カーのアナウンスだけです。ゆったりした時間の流れの中で二人はとても楽しそうでした。

帰り際、母は伯母からたくさんのヨウゴ（ユウガオ）をもらうことになりました。畑は伯母の家のすぐ隣にあります。日当たりがよく、土地も肥えているのか、畑には重さ三キロ以上、長さ五〇センチ近いヨウゴがごろごろしていました。「ばちや、もういいよ。十分だよ」という私の声にかまうことなく、九一歳にもなる伯母は次々と運び出してくれました。

キョウダイは伯母と母だけ。毎年ひとつづつ年を重ね、体も弱っていく。でも、いつも姉や妹のことを心配している姉妹です。車に乗って帰る時、妹が「そいじや、元気でね」と言うと、姉はしっかりと声でこたえました。「ころぶなや」

9月定例議会審議日程表…会議の開始時間はいずれも午前10時からです。

月 日 (曜)	会議名	会議室名	備考
9月2日 (火)	本会議	議場	提案理由の説明、質疑
9月3日 (水)	本会議	議場	前日の続き
9月4日 (木)	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月5日 (金)	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月8日 (月)	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月9日 (火)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月10日 (水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月11日 (木)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月12日 (金)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月16日 (火)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月17日 (水)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月18日 (木)	総務委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月19日 (金)	総務委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月22日 (月)	総務委員会	第1委員会室	付託案件の審査
9月24日 (水)	本会議	議場	一般質問
9月25日 (木)	本会議	議場	一般質問
9月26日 (金)	本会議	議場	一般質問
9月29日 (月)	本会議	議場	一般質問
9月30日 (火)	本会議	議場	一般質問
10月2日 (木)	本会議	議場	付託案件採択他

9月定例議会は 2日から10月2日まで

9月定例市議会は、このほど開かれた議会運営委員会で9月2日から1カ月の日程で開かれることになりました。

今定例会は、14市町村が合併して3年目の市政を検証する07年度決算の審査が中心です。上程される議案は、07年度一般会計歳入歳出決算認定など49件。このほか報告1件、同意案件7件、諮問5件が議会にかけられます。

今回上程される議案のうち、一般会計補正予算は、歳入歳出に18億346万円を追加するものです。これにより、予算総額は1060億783万円となりました。地域の文化財を総合的に保存・活用していくための歴史文化基本構想策定経費や住宅の耐震診断補助金（追加）、落雷によって破損した吉川区の告知端末装置の修繕費などが計上されています。

2日に、市長から提案理由の説明が行われ、2日、3日と総括質疑が行われます。私は党議員団を代表して3日に総括質疑を行います。この模様はJCV（上越ケーブルビジョン）で放映されます。私が所属する総務常任委員会での審査は18日、19日、22日です。